

Phak chii

2020年7月号

朴廷熙公認会計士事務所

〒542-0081

大阪府中央区南船場1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 F A X：06-6264-6136



昼間の暑さが激しいほど、闇に灯る明かりが涼しさを感じさせる。こんな様子を「灯涼（ひすず）し」といいます。うだるような暑さの一日が終わる頃、夕暮れとともに空気が少しずつ冷めてぼつりぼつりと明かりが灯る。このしみじみとした感じを「灯涼し」と表現すると、熱帯夜も心なしか涼しげに感じられますね。

【テレワーク制度を導入した際の手当と税金】

最近では多くの企業がテレワーク（在宅勤務）制度を導入するようになりました。しかし、自宅で通常の業務を行おうとすれば電気代やインターネットの通信費など「それまで発生していなかった費用」が新たに発生する事態となります。そこで今回は、本来ならば負担しなくてもよい経費を従業員に負担してもらった場合、それを在宅手当として支給する際の税金の取り扱いを考えてみましょう。



原則的には会社が従業員に支給する金品は、給与や賞与といった名目に関係なく給与課税の対象となります。ただし、業務の遂行上必要なものであり、本来は会社が負担すべき費用の実費を支払うのであれば「通常必要とされる範囲内」で課税されません。つまり従業員が業務の使用量に応じて通信費や光熱費などの明細を提示し、実費を精算するような場合は非課税となります。一方、会社が業務に必要な費用の補助として一律に従業員に在宅手当を支給する場合は給与課税の対象となります。実際にはなかなか難しいとは思いますが、従業員それぞれに実費を精算してもらったほうが給与として課税されないことで社会保険料などの負担も軽くなります。そのためこれを機に実費精算のルールを作ってもいいかもしれませんね。何よりテレワークは自己管理がとて大切で、くれぐれも体調管理には十分に気を付けましょう。

オイシイ!

進化するキムチ



李です。キムチの定番は白菜、大根、きゅうりですね。先日、鶴橋商店街の同業他店の若き後継者お二人がコロナに負けてられないと、販路拡大、売上アップのために多品種の新作キムチとパッケージを考案され、お披露目会をしました。創業者から数え3代目、4代目にあたるお二人。親世代の味や売り方ではジリ貧だということを特に今回痛感されたそうです。関与先さんの繁栄を願い、私も微力ながら何かとお手伝いさせて頂いております。新商品のコンセプト、ライバルは意外にもスイーツギフト!!

今月の教えてキーワード：【ロイヤリティ】

特許権・商標権・著作権などの権利を持つ者に支払う使用料のこと。「ノウハウの伝授に対しロイヤリティを支払う」「1回につき10%のロイヤリティが発生する」といった名詞的用法で用いられる。「王権」という意味を持つロイヤリティ (royalty) と、似た表記となるロイヤルティ (Loyalty) とが混同されるが、後者は「忠誠心」と訳され、企業やブランドへの愛着を図るマーケティングなどに使われるので注意が必要である。

【美しく、長続きして、世のためになる仕事】

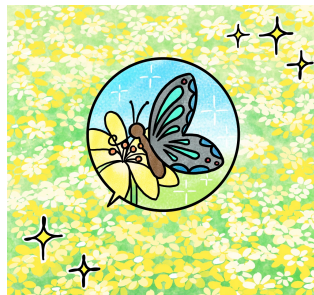
僧侶であり歌人でもあった良寛は「古い」と白髪を結びつけた歌を多く残しました。「白雪は降ればかつ消ぬしかはあれど頭に降れば消えずぞありける」は、自らの老いを自覚した良寛が「白雪は降るそばから消えてしまうが、髪の毛に降った白いものは消えてくれないことよ」と詠嘆した一句です。良寛でなくとも「髪の毛に降った白いもの」は嫌でも老いを感じさせます。年齢を考えれば自然なことでも、鏡を見るたびに「また増えたかも・・・」と気になります。仕方ないと思いつつも気になってしまうのは白髪ばかりではありません。例えば人のクセ。特に同じ屋根の下で暮らす夫婦の場合、仲が良いときは黙って見逃せる相手のクセが、ひとたび雲行きが怪しくなると途端に気に障るようになり、つい相手を責めるような物言いをしてしまうことはありませんか？

髪の毛に降った白いものが消えないように、人の性格もそうそう変わりません。アンチエイジングもこだわりすぎれば息苦しくなり、人のことも「こうあるべき」と言い出したら人間関係がぎくしゃくします。冒頭の歌は、良寛が自分の老いを自覚して詠んだと書きましたが、良寛は白髪自体を嘆いたわけではありません。

自分の白髪頭に苦笑して、老いを笑い飛ばしているのだと思います。このご時世、気になることは山ほどあるでしょう。けれど「白髪を気にして抜くと白髪が増える」と言われるように、心配事を数え始めたら、心配が心配を呼んで不安ばかりが大きくなってしまいそうです。自分のことも人のことも、商売の先行きも、肝心なのは気にしすぎないことではないでしょうか。答えのないことを考え続けても、いたずらに時間が過ぎていくだけです。

自然の摂理を詠んだ良寛の句に「花無心にして蝶を招き、蝶無心にして花を尋ぬ」があります。花は無心で咲き、蝶も無心で花を尋ねる。

仕事も同じく、無心でする仕事こそが美しく、長続きして、世のためになるという意味です。心は熱く、頭は冷静に、今できることに集中して、今日も心穏やかにいきたいですね。

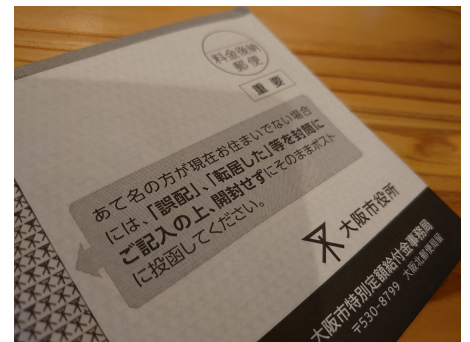


今月のいろいろ「掲示板」

コロナも第一波が少し落ち着いて来ました。

10万円の定額給付金や持続化給付金等の処理は、国税庁にさせるべきだったと私は思います。税務署はコロナで税務調査を2月からしていません。国税職員5万人のうち、暇な？2割の人員を振り向ければ、1人が1日20件処理して20万件、1月で400万件処理可能で人件費は変わりません。こんな発想を政治家や官僚に求めるのは無理なのでしょうね。

朴 廷熙



危機の中で人は成長し 危機の中で人は本ものになる

仏教詩人である坂村真民の言葉。この後に続く言葉は「だからこそ危機を避けるな。むしろ危機に立ち向かう心を養え」。困難を乗り越えるのではなくバネにしよう。